

5課

8月1日

聖霊に力づけられて あかしする



安息日午後 7月25日

暗唱聖句

彼らが祈り終わると、その集まっていた場所が揺れ動き、一同は聖霊に満たされて、大胆に神の言を語り出した。(使徒行伝 4 : 31、口語訳)

祈りが終わると、一同の集まっていた場所が揺れ動き、皆、聖霊に満たされて、大胆に神の言葉を語りだした。(使徒言行録 4 : 31、新共同訳)

今週の聖句

ヨハネ 15 : 26、27、使徒言行録 2 : 41、42、8 : 4、ヘブライ 4 : 12、
使徒言行録 17 : 33、34、18 : 8

今週のテーマ

イエスが初期の信者たちに、「全世界に行って……福音を宣べ伝えなさい」(マコ 16 : 15) とお命じになったとき、それは不可能な任務に思えたにちがいありません。どうしたらそれほど大きな課題を成し遂げられるのでしょうか。信者の数はほんのわずかであり、お金も限られていました。彼らは、ほとんどの人が教育を受けていない普通の信者の集団だったのです。しかし彼らには、途方もないこの任務のために彼らを力づけてくださる並外れた神がおられました。

イエスは、「あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。そして、エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人となる」(使徒 1 : 8) とはっきり言われました。彼らは聖霊によって力づけられることで、人の生き方を変え、世界を変える力を持つ十字架のメッセージを伝えることができるようになるのです。聖霊は彼らのあかしを効果的なものにしてくださいました。ほんの数十年の間に、福音は全世界に影響を与えました。使徒言行録は、初期のこれらの信者たちが「世界中を騒がせ……た」(同 17 : 6) とはっきり記しています。使徒パウロは、福音が「世界中至るところの人々に宣べ伝えられ(た)」(コロ 1 : 23) と付け加えています。私たちは今週、キリストのあかし人を力づけてくださる聖霊の役割に焦点を合わせます。

弟子たちは、イエスが自分たちを残して天に戻られることを心配していました。その心配に、イエスは聖霊の約束で応じられました。「わたしが去って行くのは、あなたがたのためになる。わたしが去って行かなければ、弁護者はあなたがたのところに来ないからである。わたしが行けば、弁護者をあなたがたのところに送る」(ヨハ 16:7)。「弁護者」と訳されているギリシア語は、「パラクレートス」です。それは、助けるために「そばに寄り添う人」を意味します。聖霊の主要な働きの一つは、すべての信者のそばに寄り添い、彼らがあかしをする際に力づけ、導いてくださることです。聖霊は私たちのかたわらにいて、真心から探し求める人たちのところへ導いてくださいます。私たちが会おう前から、聖霊は彼らの心を準備し、私たちの語る言葉を導き、求める人の心に罪の意識をもたらし、聖霊の促しに応じるよう彼らを強めてくださるのです。

問1 ヨハネ 15:26、16:8を読んでください。これらの聖句は、あかしにおける聖霊の役割について、どのようなことを教えていますか。

聖霊は、イエスについてあかしをなさいます。聖霊の最終目的は、可能な限り多くの人をイエスのもとへ連れて行くことであり、聖霊の使命は、イエスに栄光を帰すことです。その役割を果たす中で、聖霊はすべての信者に、あかしをする責任を自覚させてくださいます。聖霊は私たちの目を開き、周囲にいるあらゆる人の可能性を見せ、福音のメッセージを受け入れる素地をつくりだすために、舞台裏で働かれるのです。

ヨハネによる福音書は、そのことをはっきり述べています。聖霊は「罪について……世の誤りを明らかにする」(ヨハ 16:8)と。言い換えれば、心に働きかけて、神から離れているという感覚を強め、悔い改めの必要を感じさせるということです。聖霊はまた、「義について……世の誤りを明らかに」(同)されます。罪を明らかにするだけでなく、義について教えてくださるのです。聖霊は、私たちの汚れと比較して、イエスの義の気高さを明らかにされます。聖霊の役割は、私たちがどれほど悪いかを指摘するだけでなく、イエスがどれほどすばらしく、優しく、^{あわ}憐れみと愛情に富んでおられるかを明らかにし、私たちが彼のみかたちへつくり変えることです。

あかしをするというのは、イエスに栄光を帰すためにただ聖霊に協力することです。聖霊の力と導きを得て、私たちは自分の人生をつくり変えてくださったこの驚くべきキリストのあかしをします。

使徒言行録は、「聖靈言行録」と適切に呼ばれてきました。それは、あかし、宣教、教会成長についての心躍る冒険談です。使徒言行録は、献身した信者たちの物語であり、彼らは聖靈に満たされて、キリストのためにこの世に影響を及ぼしました。彼らは全面的に聖靈に頼り、奇跡的な成果を挙げたのです。彼らの先例は、聖靈に全面的に献身している男女を通して、聖靈がどのようなことを成し遂げられるかということの実例です。

問2 使徒言行録 2:41、42、4:4、31、5:14、42、6:7、16:5 を読んでください。これらの聖句に関して、最も印象的なことは何ですか。使徒言行録の著者であるルカは、このような急成長を記録することによって、どんなメッセージを伝えたかったのですか。

ルカが使徒言行録を書いた意図は、初代教会における聖靈の働きを読者1人ひとりに伝えることでした。

紀元1世紀における聖靈の働きを評価するのに、ルカがためらわずに数字を用いていることにも注目してください。彼は使徒言行録 2:41 で、わずか1日の間に、たった1か所で3000人がバプテスマを受けた事実を強調しています。同 4:4 では、5000人がバプテスマを受け、同 5:14 では、多くの男女が主を信じてバプテスマを受けたと、彼は記しています。

リディア、フィリピの看守、悪霊に取りつかれた女奴隷、エチオピアの宦官などの個人に関しても、ルカはこれらの人の心の中における聖靈の動きに注目し、それを記録しています。ここでの重要な点は、それぞれの大きな数字の背後には、個人がおり、その1人ひとりが神の子であるということです。イエス・キリストは彼らのために死なれました。確かに、私たちは大きな数字を好みますが、結局のところ、あかしはしばしば1対1でなされる努力なのです。

新約聖書時代の教会の急速な成長を促すため、新しい教会がいくつも設立されました。初代教会がこれほど急速に成長した理由の一つは、新しい教会を設立することによって絶えず新陳代謝がなされたからでした。今日の私たちにとつて、これはなんと重要なメッセージでしょう。

新約聖書時代の教会が最も重視していたのは宣教でした。どうしたら私たちが所属する教会で行うあらゆることの中心を宣教にすることができますか。

使徒言行録の隅々にまで、聖霊が力強く存在しておられます。信者たちがさまざまな方法で主をあかしたとき、聖霊は彼らを助け、彼らを通して働かれました。敵意を持つ文化の中で、あかしすることへの試練や挑戦を受ける彼らを、聖霊は力づけてくださいました。真心から真理を探究する人のもとへ信者たちを導き、彼らが町々を訪れる前に、その町にいるすべての人の心を準備してくださいました。彼らが夢にも思っていなかった機会の扉を開き、彼らの言葉と行動に力を与えてくださったのでした。

問3 使徒言行録7:55、8:29、11:15、15:28、29、16:6~10を読んでください。これらの聖句に記されているそれぞれの経験の中で、聖霊は、あかしをしている弟子たちをいかに助けてくださいましたか。言い換えれば、これらの状況において、聖霊がしてくださったさまざまなことの中には、どのようなものがありましたか。

紀元1世紀に聖霊がなされたさまざまな働きは、実に驚くべきものでした。上記の経験は、聖霊の活動のいくつかを抜き出したにすぎません。冷酷で、自制心を失った暴徒が石で打ち殺そうとするのを前にして、ステファノは聖霊に力をいただき、主のためにあかしをしました。福音をアフリカ大陸へ届ける扉を開くために、影響力があり、真理を求めるエチオピア人のもとへ、フィリポは聖霊によって奇跡的に導かれました。異邦人の信者にも聖霊の賜物が与えられたとき、ペトロは聖霊によって確認のしるしを示されました。割礼の問題を巡って教会が今にも分裂しかかったとき、聖霊は一致をもたらすとともに、使徒パウロを通してヨーロッパ大陸全体に福音を宣べ伝えるための扉を開いてくださいました。

聖霊は、新約聖書時代の教会の中で活躍されましたが、今日の教会生活の中でも活躍しておられます。聖霊は私たちを力づけ、教え、導き、一致させ、この世で最も重要な使命のために私たちを派遣したいと願っておられます。その最も重要な使命とは、人々をイエスとイエスの真理に導くことです。私たちが忘れてはならないのは、使徒や初代教会の時代とまったく同じように、聖霊が今日もなお働いておられるという点なのです。

私たちの生活の中で聖霊の力をもっと受け入れるために、私たちは日々どのようなことができますか。聖霊が私たちの中で、また私たちを通じて働くことができようになるための正しい選択とは、どのようなものですか。

神の言葉は、新約聖書時代の教会のあかしのまさに中心でした。あの五旬祭の日のペトロの説教は、キリストがメシアであることを証明するために、旧約聖書から大部分を引用したものであり、死ぬ間際のステファノのあかしは、旧約聖書のイスラエルの歴史を概観したものでした。ペトロは、「イスラエルの子らに送ってくださった御言葉」（使徒 10：36）に触れてから、コルネリウスに主の復活の物語を伝えています。使徒パウロは、メシアの到来に関する旧約聖書の偉大な預言について、何度も言及しましたし、フィリポは、探求心のあるエチオピア人に、イザヤ 53 章のメシア預言の重要性を注意深く説明しました。いずれの例においても、弟子たちは自分自身の言葉ではなく、神の言葉を宣べ伝えました。聖霊の靈感を受けて書かれたみ言葉は、彼らの権威の土台でした。

問 4 使徒言行録 4：4、31、8：4、13：48、49、17：2、18：24、25 を読んでください。これらの箇所は、聖霊と神の言葉と新約聖書時代のあかしの関係について、どのようなことを教えていますか。

靈感を与えて神の言葉を書かせられたその同じ聖霊が、人の生き方を変えるためにみ言葉を通して働かれます。神の言葉の中には、命を与える力があります。なぜなら、聖霊によって、それはキリストの生ける言葉だからです。

問 5 IIペトロ 1：21、ヘブライ 4：12 を読んでください。神の言葉には、なぜ人の生き方を変える強い力があるのですか。

「すべての世界を出現させた創造のエネルギーは、神のみ言葉のうちにある。神のみ言葉は能力を与え、生命を生ぜしめる。神のご命令の一つ一つは約束であって、意志がこれに同意し、魂がこれを受け入れるときに、そこには同時に限りない神の生命がもたらされる。それは人の性質を一変させ、魂を神のみかたちに再創造する」（『教育』135、136 ページ）。

人の生き方を一変させる力が聖書にある理由は、そもそも靈感を与えて聖書を書かせられたのと同じ聖霊が、聖書を読む私たちを悟らせ、変えてくださるからです。私たちが神の言葉をほかの人に伝えるとき、聖霊は彼らの人生を変えるために、ご自分が靈感を与えて書かせられたみ言葉を通して働いてくださいます。神は、私たちの言葉ではなく、ご自分の言葉を祝福すると約束されました。力は神の言葉の中にあるのであって、人間の空論の中にはありません。

使徒言行録を注意深く研究すると、神が聖霊によって人間の生活の中に奇跡を行っておられることが明らかになります。使徒言行録は、福音が文化的偏見を乗り越え、生涯にわたって深く身に沁みついた習慣を変え、全人類にキリストの恵みと真理を教えるということに関する事例研究です。聖霊は、人々のいる場所で彼らにお会いになりますが、彼らを置き去りにはなさいません。聖霊のもとで、彼らは変えられます。彼らの人生は一変するのです。

問6 使徒言行録 16：11～15、23～34、17：33、34、18：8 を読んでください。これらは、聖書にある回心物語の一部にすぎません。このことは、多様な生い立ちを持つあらゆる人の生き方を変える神の力について、なにを教えてくださいか。

なんとさまざまな人たちでしょう。リディアはユダヤ人の裕福な女実業家であり、フィリピの看守はローマの中流公務員でした。聖霊は社会のあらゆる階級の人の心を動かすことができになります。聖霊の変える力は、男にも女にも、裕福な人にも貧しい人にも、教養の豊かな人にも乏しい人にも及ぶのです。

先の聖句の中で残る2人は、同じくらい注目に値します。使徒言行録 17：34 は、アレオパゴスの議員ディオニシオの回心に触れています。アテネのアレオパゴスの議員というのは、訴訟を審理する裁判官の法的評議会の一員でした。彼らは有名であり、ギリシア人社会の中でとても尊敬されていました。

聖霊の力によって、使徒パウロの働きは社会の上層部にまで達しました。クリスポ（使徒 18：8）は、ユダヤ人会堂の長であり、ユダヤ人の旧約聖書の思想にすっかり染まった宗教指導者でしたが、聖霊は突き破って彼の人生を変えてくださったのです。このような事例は、私たちがキリストのあかしをし、み言葉をほかの人に伝えるとき、聖霊が、さまざまな種類の生い立ち、文化、教育、信条を持ついろいろな人の人生に驚くべきことをなして下さることを明らかにしています。心をとらえることができる人、できない人について、私たちは臆測することもできませんし、そうしてもなりません。私たちの仕事は、だれであっても、自分の生活の中で出会うすべての人にあかしをすることです。それ以外のことは、主がしてくださいます。

キリストの死は、普遍的なものでした。すなわち、それはすべての人類のためのものでした。この重要な真理は、だれであれ救われる望みから外れていると断じてみなすべきでないということについて、何を教えてくださいか。

参考資料として、『患難から栄光へ』第5章「聖霊の働き」、『各時代の希望』第73章「あなたがたは心を騒がせないがよい」を読んでください。

聖霊は、あがないの過程において、父なる神、子なる神と協力なさいます。私たちは、あらゆるあかしの働きにおいて、人を救う聖霊の働きに参加しています。聖霊は、罪を自覚させ、機会を与え、み言葉を通して知性を啓発し、真理を明らかにされます。聖霊は私たちを縛る偏見を断ち切り、真理を見る視力を奪う文化的な偏見に打ち勝ち、私たちを拘束する悪しき習慣の鎖から解放してくださるのです。

私たちはイエスのあかしをするとき、聖霊に協力しているのだということ覚えておくことがとても重要です。聖霊は私たちより前にそこにおられ、心が福音のメッセージを受け入れるように用意しておられます。聖霊は私たちとともにそこにおられ、私たちが思いつくままに親切な行為をしたり、自分のあかしをしたり、聖書研究を施したり、真理の詰まった文書を配布したり、伝道活動に参加したりするとき、相手の人の心を動かしてください。聖霊は、私たちが去ったあともその人の心にずっと働きかけ、救いの知識へ導くために必要なことを何でもしてくださるのです。

話し合いのための質問

- ① あなたのあかしを通して聖霊が力強く働かれたと感じたときのことを、安息日学校のクラスの仲間に話してください。
- ② 自分の信仰を伝えることが怖いと感じたことがありますか。聖霊の働きを知ることで、その恐れはいかに軽くなり、あかしをする際にいかに確信を得ることができそうですか。
- ③ 私たちは今週の研究において、私たちがあかしをする際の聖霊の「活動」について話し合いました。私たちが努力してあかしをするとき、聖霊はほかにどのような方法で私たちと一緒に働いてくださるか、さらに話し合ってください。聖霊は、あかしに必要な力をいかに私たちに身につけさせ、私たちがあかしをする際に、相手の人の生活の中でいかに働いてくださいますか。
- ④ この研究では、あかしの中心が聖書であるということを話し合いました。私たちの信仰とあかしにとって、なぜ聖書はそれほど重要な要素なのでしょう。聖書を信じていると言いながら、その権威や証言をそれとなくおとしめている人たちのわなを、私たちはどうしたら避けることができますか。